

# 八清親和会 自治会役員のひとり言

令和2年7月30日

No35

八清親和会 副会長

吉田祐治

## ことわざ『鉄は熱いうちに打て』

「第7波」の全国、東京都の新型コロナウイルス感染症感染拡大は、今年1月1日～5月末までの「第6波」を大幅に上回るスピードと驚異的、爆発的な感染拡大で進んでいる。

昭島市も同様に「第6波」を大幅に超える勢いのスピードと驚異的、爆発的な感染拡大が進んでいる。

しかし、我々ができることは、全市民、自治会会員等に現状を正確に知らせ、感染拡大の抑制と感染予防対策の注意喚起しかない。

これ以上感染が拡大しないよう、また“感染しない、感染させない”感染拡大の抑制や、一人ひとりが行うべき、あるいは出来る感染予防対策を全市民、全自治会会員に如何なる方法で流し注意喚起するかが、今の最優先事項である。

このためには、お役所的な、また形式的な流し方ではなく、今までのやり方にとらわれない発想とやり方で全市民、自治会会員に対しできる注意喚起の行動を行うべきではないか。

ことわざにある“鉄を熱いうちに打て”（機会を見たら直ちに手を打て）のように、過去に経験をしたことのないスピードと驚異的、爆発的な感染拡大をしている今こそが、これ以上感染拡大しないように、また、新規感染者を出さないように、感染予防対策等の注意喚起が必要ではないか。

7月22日に昭島ホームページに市長の「新型コロナウイルスに関する市長のメッセージ」が投稿されているが、どの程度の市民が見ているか疑問である。

また、昭島市の感染情報も載っているが、数字だけの記載のため、ただ多いという程度であると同時に知らない市民の方が多いと思われる。

これらを全市民に周知させるため、全戸配布のチラシと自治連加盟自治会全会員へのチラシで市長の「新型コロナウイルスに関する市長のメッセージ」や昭島市の感染状況を分かり易くグラフにして如何に「第6波」よりも「第7波」が驚異的なスピードと驚異的、爆発的な感染拡大をしているかを知らせ感染拡大の抑制と感染予防対策の実行、徹底を全市民、全自治会員に知らせ注意喚起を行うべきと思う。

何故ホームページだけでは駄目かと言うと

例えば、

1. PCでインターネットに接続されていない、スマホ持っていない。あるいは持ってもホームページを見る操作ができない等の中老年層は見る事ができない。
2. 昭島市のホームページを見る人は、手続きやコロナ情報を見る一部の人しかいない。
3. また、自治連を通して情報を流しても、自治会員は、今や昭島市全世帯56,179世帯の3割強（1/3）しかいない。即ち、昭島市民の2/3には伝わらないのである。
4. このため、他地域の市民と話す機会があった時間くと、昭島市の市長のメッセージを知らない、コロナ感染情報がホームページに乗っていることも知らない人が非常に多いのが実態ではないか

ただホームページに記載したから全市民に周知できると思っているならば、全く現実離れしたお役所仕事である。また自治連も各自治会で感染拡大を抑制、対策情報が流せない自治会のカバーとして、自治連として自治連加盟全自治会員向けのチラシを配布することが自治連の「自治会、自治会が必要とする自治連」ではないか。すぐにゴミ箱に行ってしまう「自治連だより」を全会員に配布するより効果があるのではないか。

以上